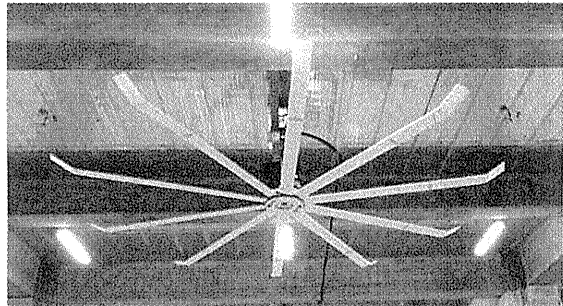


グローバル・ロジスティック・プロパティーズは超大型シーリングファン「ビッグガスファン」を、17日に竣工させたGLP川島(埼玉県川島町)から順次標準設置する。常温倉庫において、より良い労働環境を提供していく。

同社は3月以降に竣工する物件の入居企業に要望を確認し、各テナントの賃貸区画ごとに1台を標準仕様として設置。不要な場合は「設置しない」選択もある。運営コストは入居企業の負担だが、従来の空調設備と

超大型ファン標準設置

常温倉庫 快適性を向上



比電機代を98%削減。追加する場合も、従来の4分の1の負担で設置できる。

従来の空調設備と比べ電機代を98%削減

省エネ性にも優れており、経済的負担と環境負荷の低減を両立できる。

アルミ製で航空機翼形状の巨大な羽根を備えるビッグガスファンは、天井の高い広域空間に大容量の空気を循環を生み出し、1台で450坪をカバー。ラックといたった障害物がある場合でも、区画の隅まで渦巻き状の気流が行きわたるため、体感温度として空調設備と同等の効果が見込める。

同社では、顧客満足度調査や庫内作業員へのヒアリングなどを定期的に実施。常温倉庫における夏期の庫内温度対策の要望が最も多く、今までも断熱性能の高い環境を提供してきたが、更なる快適性の向上が求められていた。

帖佐義之社長は「テナント企業が直面する課題に迅速なソリューションを提供するため、今回のファン導入を決定した。今後も、安全で快適な施設づくりにまい進していく」と話している。(井内亨)

中2階テナントが選択

GLP◆埼玉・川島に竣工

施設機能多様化 天井高7.5m活用可能

グローバル・ロジスティック・プロパティーズ(GLP、帖佐義之社長、東京都港区)は17日、埼玉県川島町で開発していた物流施設「GLP川島」の竣工式と内覧会を開いた。GLP川島では、EC(電子商取引)やアパレルなど天井高を必要としない企業は、2階にメザニン(中2階)フロアを追加可能。追加しない場合は、7.5mの天井高を活用できる。施設機能

を多様化し、テナント企業が選択できるようにした。敷地面積2万6800平方メートルで、1、2、4階が事務所を一部設けた倉庫エリア、3階は事務所エリアの4階建て。延べ床面積は4万8900平方メートルで、メザニンを追加した場合、5万4千平方メートルに拡張する。1階には土地の高低差を生かした高床、低床の両バースを設置し、製造業や飲料メーカー向けに2.5mのフロアクリフトが走行可能な構造とした。

首都圏中央連絡自動車道(圏央道)・川島インターチェンジ(IC)に隣接し、関越自動車道や東北自動車道へ接続しやすい好立地。国道16号、254号も利用できる。広域配送や域内配送、都心配送のオペレーションが可能だ。

全館LED(発光ダイオード)照明や太陽光パネルを設置するなど環境面に配慮。BCP(事業継続計画)対策として、施工したJFEシビルが得意とする技術、ハーフ十字タンパーを採用し、地震の揺れを20%



メザニン(中2階)を追加した場合、延べ床面積は5万4千平方メートルに

低減できるようにして安全性を確保した。

また、浸水防止対策として、非常用発電機を含む電気室を2階と3階に配置。川島町と同日付で、洪水発

記者会見で、帖佐社長は「様々な物流ニーズに見合うよう、GLPの特徴でもある機能の多様性、柔軟性を高くして開発した。入居企業は決まっていなくても多くの引き合いを頂いている。竣工後1年をメドにフル稼働を目指しているが、前倒しできる可能性もあるだろう」と語った。(井内亨)